

商品名 ベタヒスチンメシル酸塩錠12mg「JD」 添付文書情報

一般名	ベタヒスチンメシル酸塩12mg錠	薬価	6.60
規格	12mg 1錠	区分	
製造メーカー	東和薬品	販売メーカー	東和薬品
薬効	1. 神経系及び感覚器官用医薬品 13. 感覚器官用薬 133. 鎮量剤 1339. その他の鎮量剤		

ベタヒスチンメシル酸塩錠12mg「JD」の用法・用量

通常、成人は1回1錠を1日3回食後経口投与する。（なおベタヒスチンメシル酸塩としての1回の用量は6～12mgである）。ただし、年齢、症状により適宜増減する。

ベタヒスチンメシル酸塩錠12mg「JD」の効能・効果

次記疾患に伴うめまい、めまい感：メニエール病、メニエール症候群、眩暈症。

ベタヒスチンメシル酸塩錠12mg「JD」の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

2. その他の副作用：

- [1] 消化器：（0.1～5%未満）悪心・嘔吐。
- [2] 過敏症：（0.1～5%未満）発疹。

ベタヒスチンメシル酸塩錠12mg「JD」の使用上の注意

【合併症・既往歴等のある患者】

- 消化性潰瘍の既往歴のある患者及び活動性消化性潰瘍のある患者：本剤はヒスタミン類似作用を有するため、H2受容体を介して胃酸分泌亢進を引き起こすおそれがある。
- 気管支喘息の患者：本剤はヒスタミン類似作用を有するため、H1受容体を介して気道の収縮を引き起こすおそれがある。
- 褐色細胞腫のある患者：本剤はヒスタミン類似作用を有するため、アドレナリンの過剰分泌により血圧上昇を引き起こすおそれがある。

【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断された場合にのみ投与すること。

【授乳婦】

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

【小児等】

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

【高齢者】

減量するなど注意すること（一般に生理機能が低下している）。

【適用上の注意】

1. 薬剤交付時の注意：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること（PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜に刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することがある）。

【保管上の注意】

室温保存。

